

神影里づくり計画



令和2年9月

神影里づくり協議会

目 次

第1章 神影地区の概要

- (1) 神影地区の立地条件・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p. 3
- (2) 神影地区の人口統計・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p. 5
- (3) 神影地区の営農状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p. 5
- (4) 地区の行事等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p. 5
- (5) 文化環境保全区域・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p. 8
- (6) 農村用途区域・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p. 11
- (7) 地区の問題点及び課題・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p. 11

第2章 地区の整備の目標及び方針・・・・・・・・・・・・・・・・ p. 12

第3章 農業振興計画

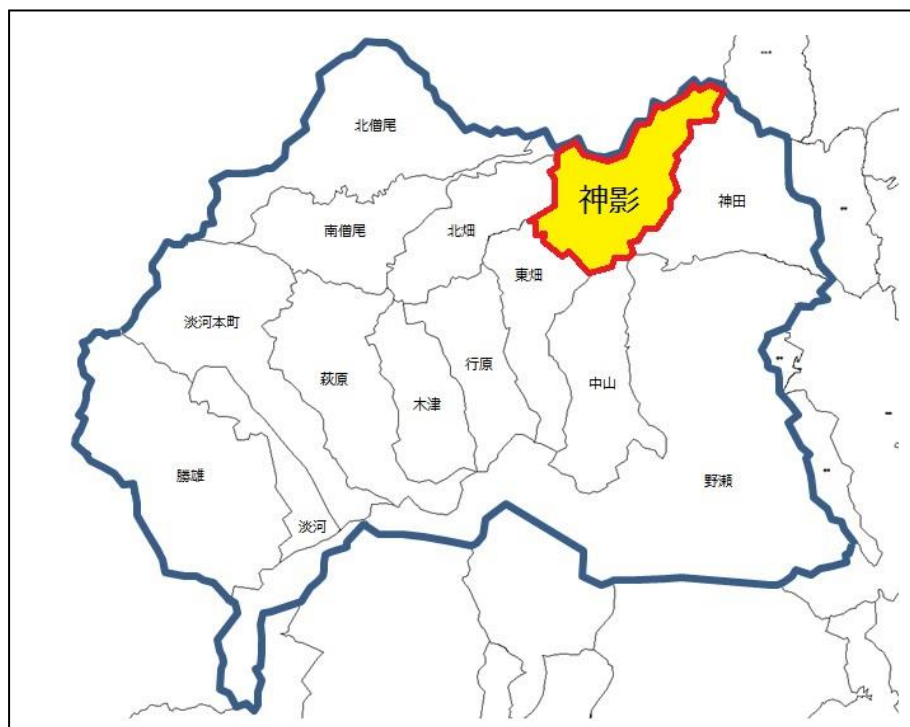
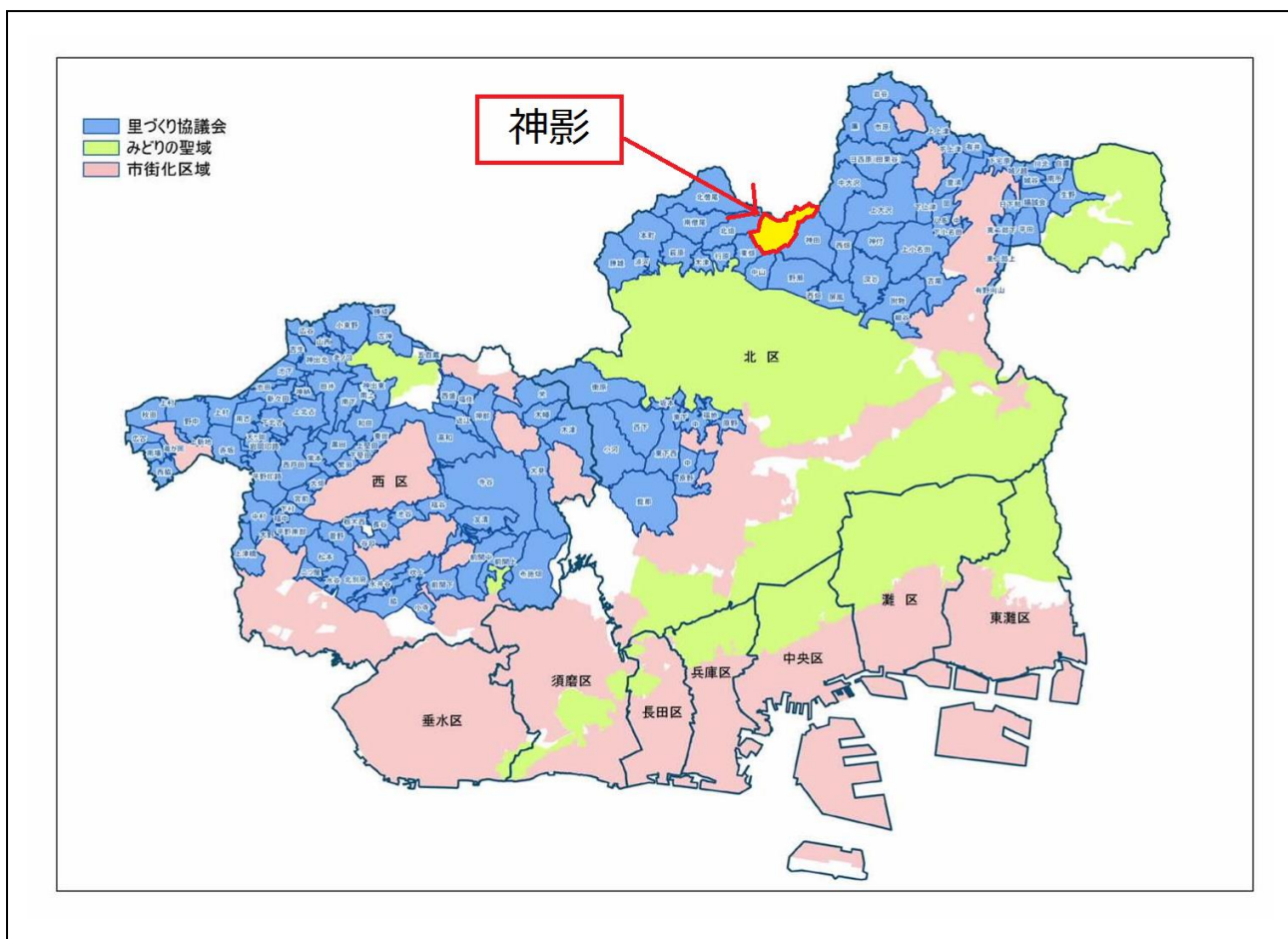
- (1) 営農環境の維持・改善・・・・・・・・・・・・・・・・ p. 12
- (2) 獣害対策・・・・・・・・・・・・・・・・ p. 12
- (3) 未整備田について・・・・・・・・・・・・・・・・ p. 12

第4章 環境整備計画

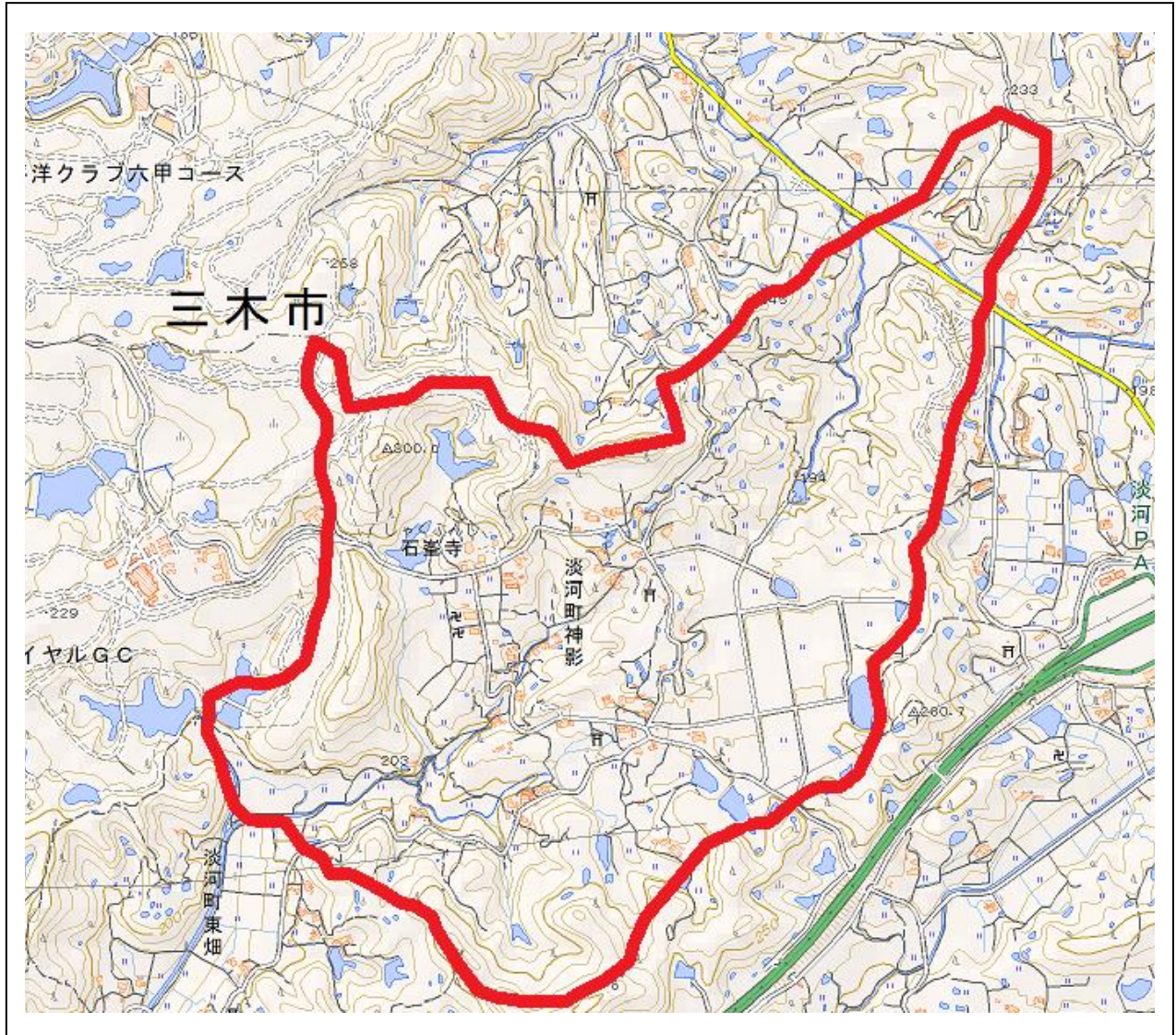
- (1) 生活環境・・・・・・・・・・・・・・・・ p. 13
- (2) 石峯寺周辺の環境・・・・・・・・・・・・・・・・ p. 17
- (3) 希少生物の生息地保全・・・・・・・・・・・・・・・・ p. 19

神影里づくり計画の策定経過・・・・・・・・・・・・・・・・ p. 20

第1章 神影地区の概要



神影の位置図



国土地理院 地理院地図

神影地区図

(1) 神影地区の立地条件

淡河町は神戸市北区の北部に位置し、昭和 33 年 2 月に神戸市に合併した農村区域、南に帝釈丹生山系が位置し、淡河川沿いに東西に開けた区域。合併当時の人口 5,004 人だが、平成 29 年 9 月 2,655 人と半減し、高齢化率 38.5% と高い。東部で八多町・大沢町、西部で三木市、南部で山田町、北部で三木市にそれぞれ面している。現在の北神地区に位置する八多などの各町は摂津国有馬郡であったが、淡河は播磨国美囊郡で現在の三木市などとの繋がりが文化的にも大きいという特色をもつ。

淡河町は元々、淡河村と上淡河村に区分されるが、神影は上淡河村の北に位置し、淡河町北僧尾、南僧尾、北畑及び野瀬、神田の地域に隣接している他、現在は三木市内である吉川町がすぐ北に位置する。

元々は地域の北西に位置した石峯寺の門前町の様相であったが、現在は周辺を里山に囲まれ、真ん中に田畑が広がる、典型的な田園風景となっている。比較的都市部に近いことから、若い世代が離れており、人口も 128 人となっている。

ただし、町内に天王谷学園（児童養護施設）があるため、高齢化率は 28.9%と淡河町の中では低い。

地区の南側を山陽自動車道、東側に県道 506 号線（市野瀬有馬線）が走っている。



集落境界付近



各集落内地域の風景



石峯寺周辺の風景

（資料提供：NPO 法人「淡河神影工房」）

(2) 神影地区の人口統計（国勢調査より）

	2005年	2010年	2015年
世帯数	54	45	38
人口	190	170	139

(3) 神影地区の営農状況（農林業センサスより）

	2005年	2010年	2015年
農家戸数	32	30	24
専門農家	7	5	3
第1種兼業農家	1	1	2
第2種兼業農家	24	24	19
農家人口（人）	124	102	71
農地面積(a)	2,607	2,507	2,749
田	2,575	2,365	2,607
畑	32	120	142
樹園地	0	22	0

(4) 地区の行事

① 石峯寺

ア 地域イベント

(ア) 夏の夜市

淡河町地域住民で構成される「淡河地域振興協議会」が主体となって開催される。

(イ) もみじまつり

淡河町全体の活性化を目的として活動している、集落内に拠点を置く NPO 法人「淡河神影工房」が主体となり、ライトアップやミニコンサートを実施する。

(ウ) 神影の里を歩く会

NPO 法人「淡河神影工房」が主体となり、石峯寺北側の城跡見学など淡河の歴史を学ぶワークショップを行った。

イ 年中行事

- | | |
|---------------|--------------|
| (ア) 毎月 21 日 | 写経日 |
| (イ) 1 月 1 日 | 修正会 |
| (ウ) 3 月最終日曜日 | 春季大法要 |
| (エ) 5 月 8 日 | 花祭り・納髪供養 |
| (オ) 8 月 9 日 | 施餓鬼法要・精霊むかえ灯 |
| (カ) 8 月 15 日 | 精霊おくり火 |
| (キ) 12 月 31 日 | 除夜の鐘 |

神戸十三佛霊場会『第七番（薬師如来）岩嶺山 石峯寺』 “年中行事”

<http://13butsu.com/temple/007.php> （参照 2019-7-17）

② 十輪院・庭園と茅葺屋根

ア 庭園と茅葺屋根の保全活動

庭園、茅葺屋根の管理に関するフィールドワークを NPO 法人「淡河神影工房」が助成事業として行っている。

③ 撫石天神社

- | | | |
|---|---------|------|
| ア | 1月1日 | 花振り |
| イ | 2月11日 | 初伊勢講 |
| ウ | 7月第1日曜日 | 天神祭り |
| エ | 11月25日 | 天神祭り |

【石峯寺】

・夏の夜市

(配布チラシ)



・もみじまつり



(配布チラシ)

淡河町石峯寺
もみじまつり2018

OGOCHO SHAKUBUJI MOMIJIMATSURI 2018

11.10 10:00 - 19:00
11.11 10:00 - 15:00
11.17 10:00 - 15:00

もみじの中でゆっくり過ごそう

淡河町石峯寺もみじまつり2018

月行事
日本のお茶
食飲の秋
ライトアップ
心を経験

11.10-13.00
11.00-13.00
17.00-19.00
17.00-19.00
18.00-19.00

ACCESS

ABOUT

(資料提供：NPO 法人「淡河神影工房」)

(5) 文化環境保全区域

神影地区には重要文化財にも指定されている石峯寺が位置し、寺院周辺が文化環境保全区域に指定されている。

・石峯寺は、現在は高野山真言宗の寺院で、本尊は延命地藏。

寺伝によれば、白雉2年(651)、法道仙人によって開基し、天平19年(747)には行基によって薬師堂が、さらに弘仁14年(823)には三重塔が建立された。

・現在塔中寺院は竹林寺・十輪院・極楽寺の3つの子院のみだが、かつては多くの僧坊を有していた。江戸時代の絵図では岩本坊など23の子院の存在が確認できる。

・重要文化財 薬師堂、三重塔

(薬師堂)



(三重塔)



(文化環境保全区域の景観)

参道 (寺側から)



(山門側から)



十輪院庭園 (市指定名勝)



境内の 88 か所めぐり

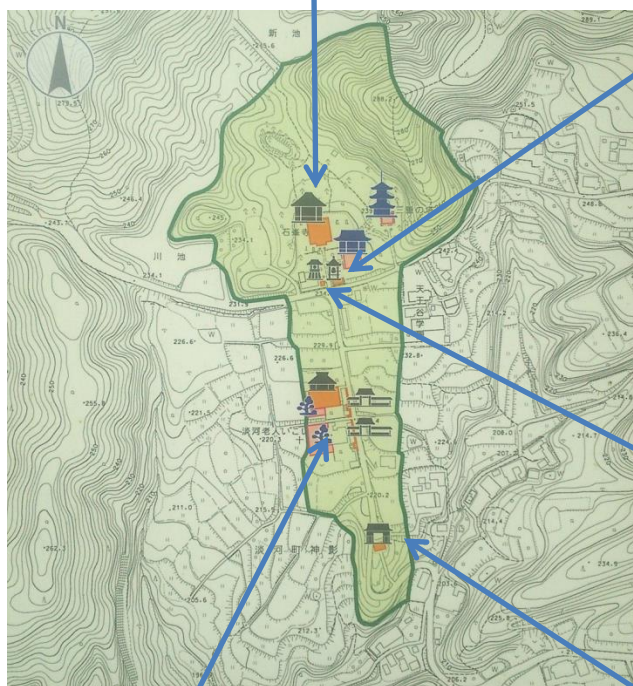


- ・神戸市指定 文化環境保存区域 (石峯寺及びその周辺)
構成要素 本堂、仁王門、鐘楼、鼓楼
十輪院(土塀、門)、竹林寺(土塀、門)
・十輪院庭園及び竹林寺庭園は市指定名勝

文化環境保存区域構成要素（本堂）



文化環境保存区域構成要素（鼓楼）



神戸市指定文化環境保全区域



文化環境保存区域構成要素（鐘楼）



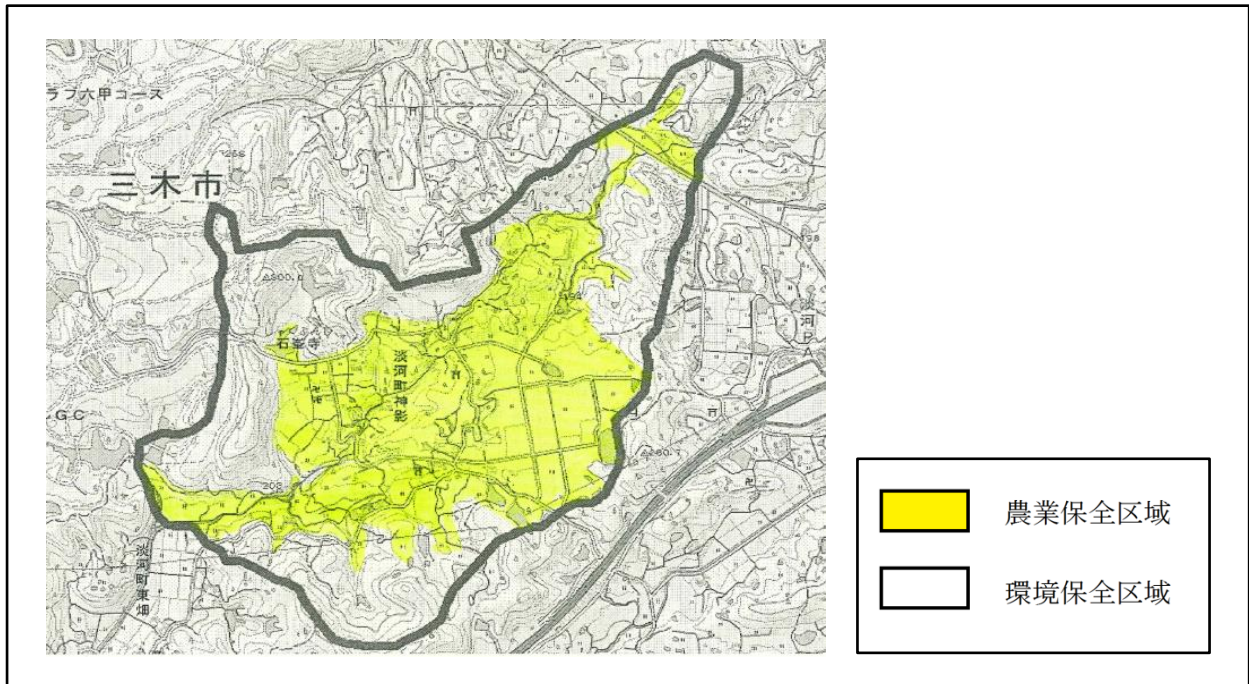
十輪院 土壁・門



文化環境保存区域構成要素（仁王門）
（資料提供：NPO 法人「淡河神影工房」）

(6) 農村用途区域

神影地区の農村用途区域は、農業保全区域と環境保全区域からなっている。農村用途区域に関し、現在定められている区域設定を変更しないものとする。



(7) 地区の問題点及び課題

① 農業振興

地区内農業者の高齢化および後継者不足が進行している。

神影は冬に雪が多く降る環境であり、農業収益のみによる生活は困難である。

兼業農家が主体となって、国事業「多面的機能支払い交付金制度」を活用しながら農地の保全を行っている。

今後、農地の持続的な保全に向けて、担い手の確保等対策が望まれる。

② 少子高齢化

地区内の少子高齢化が進んでいる。

現在、地域内には小中学生はいない。

地域の小学校は人数が少なく、子育て世代は地域外の学校に通学させようとして地域外に流出してしまっている現状である。

今後は、現在増加している空き家に子育て世代を受け入れていくなど、地域全体で対策を検討していく必要がある。

③ 生活環境

地域内のゴルフ場を利用する客が多く、信号がなく見通しの悪い道を危険なスピードで通りぬけており、過去に事故もあった。危険箇所を共有し、対策を講じたい。

第2章 地区の整備の目標及び方針

神影地区の資源を活かして、地域の活性化および安全で住み良い環境づくりを基本目標とし、以下の点を軸に魅力ある里づくりを進めていく。

- 1 農業を振興するための条件整備
- 2 誰もが住みよい生活環境の整備
- 3 空き家活用による里づくり支援施設の整備

第3章 農業振興計画

(1) 営農環境の維持・改善

地区内では水田農業を中心とした農業が営まれている。後継者がいない農家も多く、将来の営農環境の見通しは明るいとは言えない状況だが、農地の保全を行い、将来に良好な営農環境を引き継いでいく。

(2) 獣害対策

イノシシ・アライグマ・ヌートリア等による農産物被害が多発している。作物そのものの被害の他、掘り返しによる被害も大きい。補助事業を活用し、電気柵設置は進めているが、特にイノシシによる被害は続いている。今後も電気柵の適切な設置・管理や、農産物残渣の適切な処理等、被害軽減に向けた対策を行っていく。

(3) 未整備田について

圃場整備を行っていない田（未整備田）は不整形かつ小規模であり作業効率が悪いものの、集落全体の営農環境を維持・改善するには未整備田の管理も不可欠である。園芸作物の栽培や交流事業への活用等、農地が荒廃しないような方策が求められる。

第4章 環境整備計画

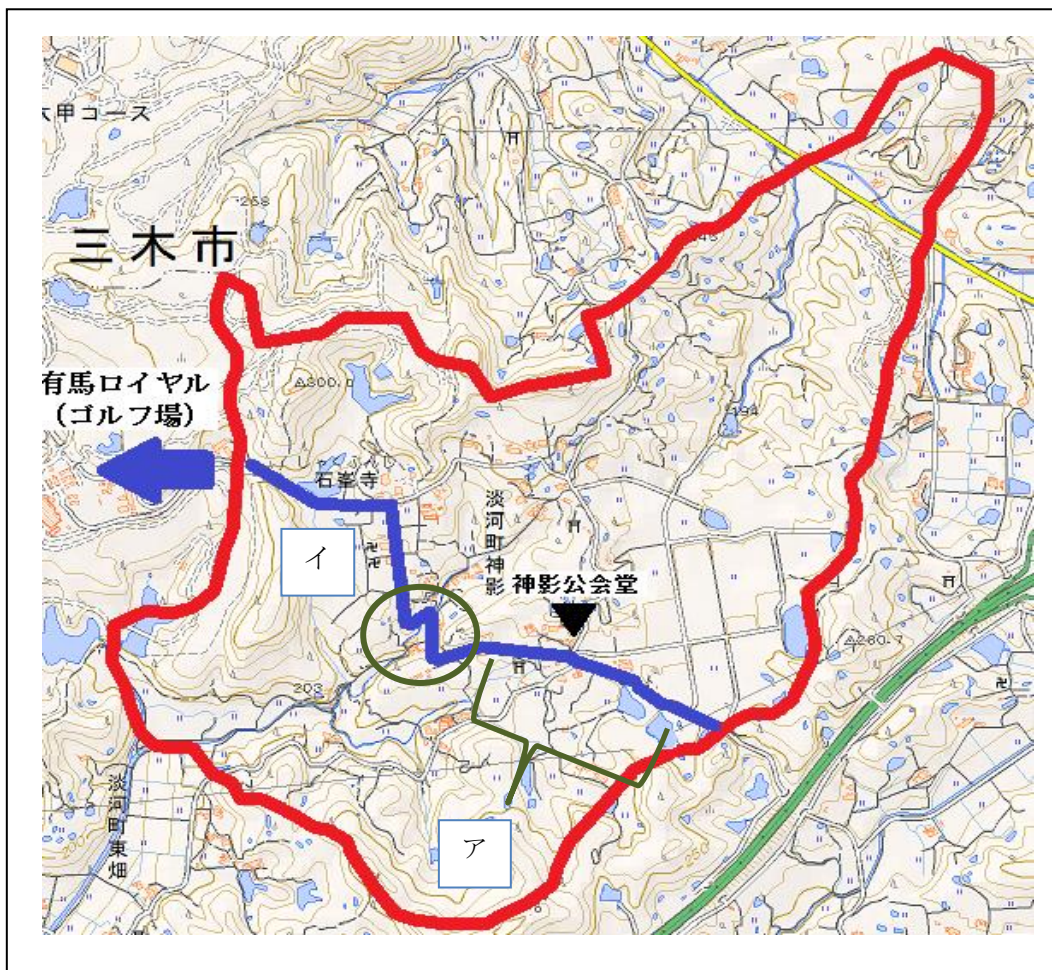
(1) 生活環境

① 安全対策

地区内に改善要望のあった地域を以下にまとまる。以下の地域は住民への周知を行い、注意喚起を促す。

ア 神影公会堂、石峯寺の前を通る道路はゴルフ場に繋がっており、集落外の住民が通行することも多い。公会堂前はほぼ直線の坂道になっており、斜面下向きに進む車はスピードが出やすいため通行には注意が必要である。

イ 東側から上記アの道路を通り過ぎると、このカーブに進入することになる。地図を見ても分かるように急なブラインドカーブであり、速度を落とさず進入すると曲がりきれない。実際にこのカーブで曲がりきれず脇の田に転落する車が何度も見られている。



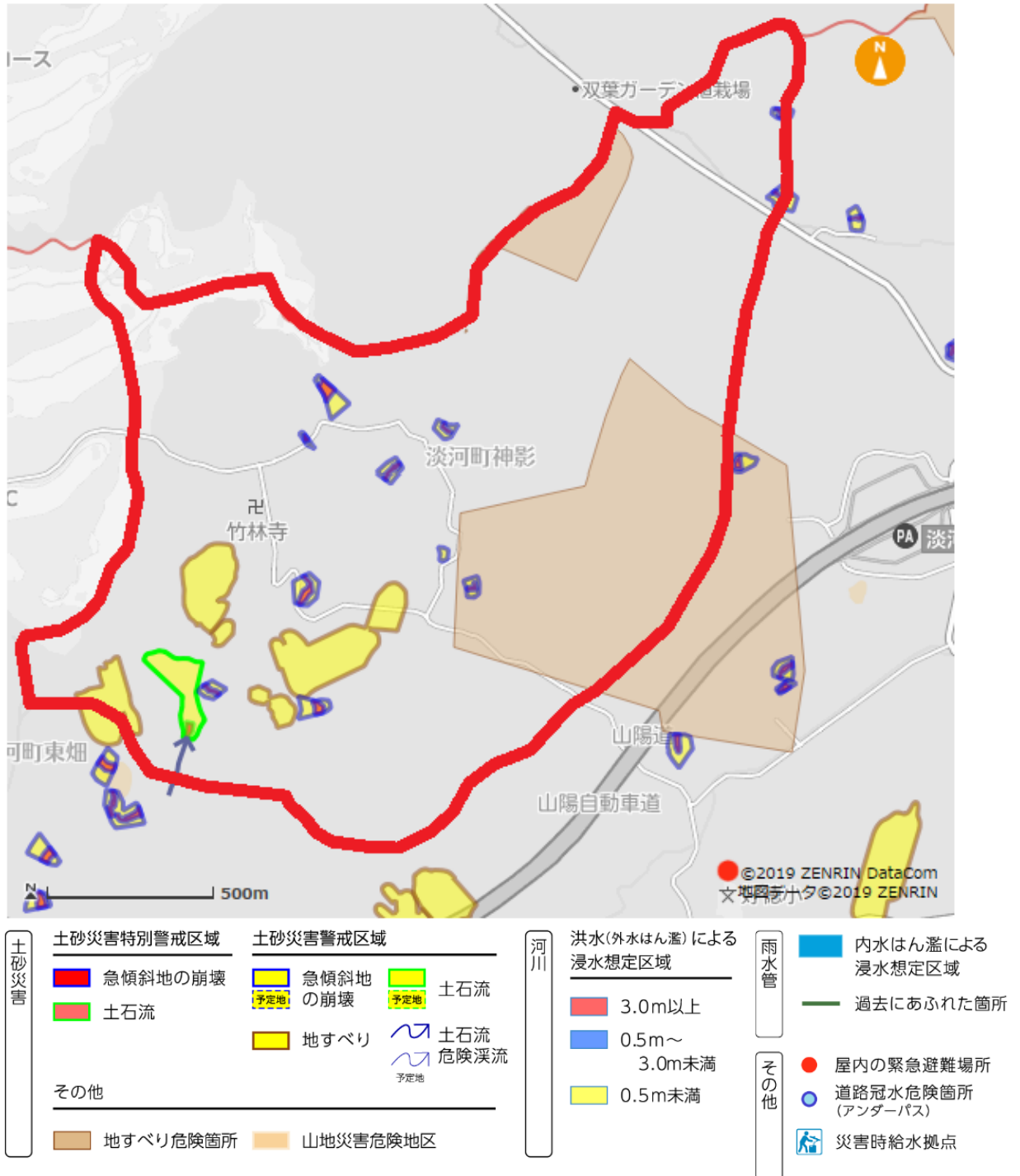
集落内交通危険箇所図



イ地点（見通しの悪い連続したカーブ）

② 土砂災害警戒区域

神影地区内において土砂災害警戒区域等は以下の図面の通りである。集落は山間部に位置しており、急斜面も多い。災害発生時は土石流、地すべり等にまきこまれぬように避難経路などを平常時から確認し備える必要がある。



※各危険箇所、地物、行政区境等のデータについては、公開用に概略化したものであり、誤差がある場合があります。

土砂災害警戒区域

『神戸市ハザードマップ』より



竹林寺南方の土砂災害地域

(2) 石峯寺を中心とした文化環境保全区域

① 石峯寺の歴史

地区内に位置する石峯寺は非常に古い歴史を持っており、大化の改新を行った孝徳天皇の勅願で 651 年に本堂が建立された。また、敷地内に現存する三重塔は嵯峨天皇による勅願で 823 年に建てられ国の重要文化財に指定されている。寺の隆盛期には西大寺叡尊が来寺し、1800 人に菩薩戒を授け、僧坊は十数坊もあった。火災や落雷・戦火によって諸堂を焼失したが、多くの信徒の力で再建されている。現在、石峯寺は神戸市内でも有数の文化財所有寺院となり、神戸 13 佛霊場の 7 番「薬師如来」に入っている。

また、石峯寺の背後には石峯寺城跡が残っている。石峯寺城は本丸と二の丸の双郭からなる小城であった。本丸と二の丸の間に深い掘切、本丸の東には空堀と土塁があって、二重に築城されており、城の北面は急峻な斜面、南面は屏風岩が連立する要塞化した山城であったと記録が残っている。

次世代にこれらの歴史的な建築物を残していくため石峯寺周辺の管理は続けていく。

参考：淡河自治協議会（2008）『神戸市合併 50 周年記念誌「つなぐ」』
p. 84, p. 101 より

② 石峯寺の整備と活用

日常的に管理は行っているが集落の人手だけでは維持しきれない箇所もあり、補修するためには補助事業の活用も検討していかななくてはならない。境内には多数の石仏が並び「八十八箇所」として巡ることもできるが、その通路では大木の根や岩肌が見えており転倒の恐れを感じる箇所もある。同箇所の山林はナラ枯れの被害も受けており枝の落下や、倒木により地元住民及び参拝客が大けがを負う危険性もあるため整備を進めていく必要がある。

また、観光客の増加に備えて駐車場の整備の必要性も協議会内から声が上がっている。

ナラ枯れについては 2019 年に県の事業を用いて整備を行ったが、その他の問題箇所も順に整備していく。



石峯寺の重要文化財

八十八箇所（参拝道の風景）



整備希望箇所（一部）



柵がなく転落の恐れがある



岩肌が出ており滑落の恐れがある



枝折れにより破損した箇所



(3) 希少生物生育地の保護

神影集落には神戸市レッドデータブックに記載されている希少植物の群落地が存在している。石峯寺にあるスダジイ群落は規模、質ともに市内でも有数の植物群落であり A ランク(※)のカテゴリに位置付けられている。今後も貴重な植物群落を保護するため管理・保全していく。

※A ランク・・・規範的、質的にすぐれており、貴重性の程度が最も高く、全国的価値に相当する群落

■ 植物群落(58群落)

No.	群落分類	群落名	確認場所	神戸市 2015ランク	兵庫県 RDB2010
1	照葉樹林	アラカシーヒメユズリハ群落	東灘区本山町岡本 秦彦鳴尊神社	C	C
2	照葉樹林	ヤマモモ群落	東灘区本山町北畑 保久良神社	C	C
3	照葉樹林	スダジイ群落	灘区摩耶山町 摩耶山 摩耶山天上寺	B	C
4	照葉樹林	アラカシーカゴノキ群落	中央区葺合町 布引滝	C	—
5	照葉樹林	スダジイ群落	中央区神戸港地方 再度山 大龍寺	A	B
6	照葉樹林	モミーアカガシ群落	北区山田町坂本 丹生山 丹生神社	C	—
7	照葉樹林	ウラジロガシ群落	北区山田町下谷上 天彦根神社	C	↑
8	照葉樹林	スダジイ群落	北区山田町小部北ノ谷 (神戸宝塚線沿い) 杉尾神社	C	↑
9	照葉樹林	スダジイ群落	北区山田町小部松宮山 大歳神社	C	↑
10	照葉樹林	コジイ群落	北区山田町原野火打石 八坂神社	C	↑
11	照葉樹林	スダジイ群落	北区山田町藍那北ノ町 藍那八王子宮	C	↑
12	照葉樹林	ウラジロガシ-シラカシ群落	北区大沢町市原 豊歳神社	C	↑
13	照葉樹林	コジイ群落	北区大沢町中大沢 秦彦鳴尊神社	A	B
14	照葉樹林	シラカシーウラジロガシ群落	北区大沢町日西原 天満神社	C	—
15	照葉樹林	コジイ群落	北区淡河町行原 大歳神社	C	↑
16	照葉樹林	コジイ群落	北区淡河町勝雄 中山神社	B	追加
17	照葉樹林	シラカシーアラカシ群落	北区淡河町行原 山平(やまひら)神社	C	↑
18	照葉樹林	スダジイ群落	北区淡河町神影 石峰寺	A	C
19	照葉樹林	アカガシ-ソメイ群落	北区淡河町神田 秦彦鳴(天王)神社	C	—
20	照葉樹林	コジイ群落	北区淡河町神田 八雲神社	C	—
21	照葉樹林	コジイ群落	北区八多町附物 八王子神社	C	↑
22	照葉樹林	アカガシ群落	北区八多町柳谷 八王子神社	B	↑



出典：神戸市環境局（2015）

『神戸の希少な野生動物 -

神戸版レッドデータブック 2015』、表紙、

p. 26（抜粋、一部補足）